

八女市立見崎中学校 学校教育目標

『ふるさとのよさを実感するとともに、
自らよりよい社会の形成に貢献する子どもの育成』

《めざす子ども像》

- ・問題を発見し、その解決に自ら関わる子ども
- ・自分の考えが相手に伝わるように工夫して表現する子ども
- ・互いの違いを認め合い、良好な人間関係を築く子ども

見崎中学校では今年度から学校教育目標を「ふるさとのよさを実感するとともに、自らよりよい社会の形成に貢献する子どもの育成」と新たにしました。これは、忠見小学校の齋藤校長先生と川崎小学校の熊谷校長先生と3人で話し合い、義務教育9年間でみなさんにこのようなこどもになってほしい、力をつけてほしいと、忠見小学校、川崎小学校、見崎中学校の3校共通の学校教育目標として設定しました。

「ふるさとのよさを実感する」とは、川崎・忠見そして八女市のよさを更に感じて、誇りに思えるようになってほしい、ということです。

「よりよい社会の形成に貢献する」とは、社会とは自分が所属する集団のことです。学習する班でも、学級でも、部活動でも、自分が所属する集団をよりよくするために自分のよさを発揮して集団の役に立ってほしい、ということです。

この目標を達成するためには三つのことが大切です。

一つは、友達同士、お互いの違いやよさを認めあうこと。人間関係作りの基本です。

二つは、人から言われたことをただするのではなく、自分から考えて行動すること。

三つは、自分の考えを相手に伝えようと工夫すること。です。

2、3年生には、昨年度から、「何事にも自分から関わろう」と言ってきました。自分から関わると「あんな風にしたい」「こうなるといいな」という目標ができます。目標ができると「そのためには、こんなことをしなければ」と、具体的にやる内容やそのやり方を考えるようになります。この「自分で考える」「自分で行動する」「自分で判断する」ということがとても大切なのです。そして、自分で考え、行動し、判断したことを分かり易く伝えて、その集団の役に立ってほしいということです。そのためには、友達のよさや違いを認め合い、自分の考えを言うだけでなく、友達の考えもしっかり聞くことが大切です。ということです。



祝入学

4月7日（火）、新入生42名を迎えて、令和2年度新しい見崎中学校がスタートしました。入学式に臨む新入生の姿は緊張の中にも誇らしげで、「中学校で頑張るぞ」というやる気を感じられました。また、迎える2、3年生も、前日の入学式準備や教室の準備など、「1年生が安心して気持ちよく中学校生活のスタートがきれように」という上級生の思いを感じることができました。



新入生宣誓

あたたかな春のおとずれと共に僕たちはこの伝統ある見崎中学校に入学することができました。世の中がコロナ感染で大変な時に入学式を迎えることができるか、とても心配していましたが、本日はこのような立派な式を行っていただきありがとうございます。

小学校の制服から中学校の制服に変わりブレザーを身にまとった時、少し大人になったようで身が引きしめる思いがしました。見崎中学校の門をくぐった時、これから三年間、学校のきまりを守り、勉強やスポーツを頑張り、生涯付き合っていけるような大切な友をつくりたいという希望でわくわくしました。今日のこの気持ちを忘れず、一日一日を悔いのないよう大切に過ごしていきたいと思えます。校長先生をはじめ諸先生方、上級生の皆様、僕たちのことをこれから温かく、そして時にきびしくご指導していただきますようよろしくお願い致します。

職員紹介

新入生代表

新型コロナウイルス感染症防止のための臨時休業について

新型コロナウイルス感染拡大で、福岡県も対象となる「緊急事態宣言」が出されました。他人事ではなく、一人一人に求められていることとして実行していきましょう。

- ◆自分自身の健康チェック ◆不要不急の外出を控える ◆手洗いやせきエチケットの実行
- ◆換気の悪い場所、多数が集まる場所、間近で会話のある場所を避ける
- ◆抵抗力を高める（早寝早起き規則正しい生活、適度な運動、食事）